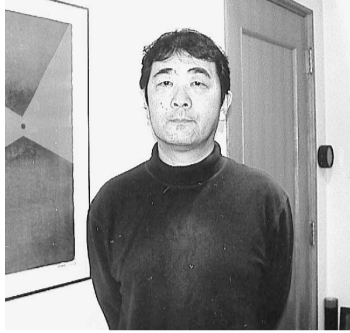


# 「音楽の遊牧民」が奏でる一味違った クリスマスコンサートはいかが？



今、現代音楽界で注目のグループ「アンサンブル・ノマド」芸術監督の佐藤紀雄さん（井の頭二丁目「自宅」）

日本の現代音楽界をリードするギタリストで指揮者の佐藤紀雄さん（井の頭在住）率いる「アンサンブル・ノマド」が、芸術文化センター「ウィークエンド・マチネ・シリーズ」に初登場。メシアンの作品を中心に、「フランス風味のクリスマスコンサート」をお届けします。

「アンサンブル・ノマド」は、国内外で現代作品の演奏や指揮を中心に活動する佐藤さんが97年、それまでに会った気鋭の演奏家仲間を集めて結成したグループ。ノマド（NOMAD）遊牧の名のとおり、20世紀の各国の音楽を、伝統的流れを汲むものから現代音楽までジャンルを越えて自在に取り上げます。斬新なアイデアで常に新しい試みを続けるこのアンサンブルは、音楽家・批評家からも高い支持を得ています。

小学生からギターを始め、中学ではブラスバンド部ですべての楽器を体験し、あらゆる曲を自由に演奏したり編曲したりしています。多様な音楽と、その背景にあるものに対する豊かな好奇心は今もそのままです」と、佐藤さんは親しみやすい笑顔で語ります。

佐藤さんが今回、地元・三鷹市芸術文化センターでのコンサートのために考えてくださったプログラムは、今年没後10年を迎えるフランスの巨匠・メシアンを中心としたラインナップ。敬虔なカトリック信者であったメシアンの作品には、聖書のことばや聖母マリアとイエス・キリストをテーマにしたものが多く、今回は「ヨハネの黙示録」を音楽で描写したとされる「世の終わりのための四重奏曲」や、「みどりの見エースに注ぐ聖母のまなざし」などの代表作を取り上げます。また、後半には雰囲気を一転して、プーランク、ラベルの華やかなフランス印象派作品や、カタロニア（バルセロナ）地方のクリスマス・キャロル「鳥の歌」（モンボウ）、メシアンに深い影響を受けたといわれる世界的な日本人作曲家・武満徹の作品といった、「ノマド」オリジナルの「クリスマスコンサート」の構成になっています。曲にまつわるエピソードなどの解説の中で当日飛び出す佐藤さんのギター演奏も楽しみみです。

今年は、他ではちよつと聴けないクリスマスコンサートで、一緒に新しい音楽の楽しみを発見してみませんか。

▽12月22日（午後2時開演）芸術文化センター風のホールで、出演は佐藤紀雄（ギターとお話）・山根孝司（クラリネット）・野口千代光（バイオリン）・菊地知也（チェロ）・稲垣聡（中川賢一（ピアノ））チケット一般2千500円、学生1千300円、交流パーティ（要予約・40人まで）3千円、託児（要予約・1歳半〜未就学児10人まで）500円。

▽三鷹市芸術文化振興財団 47-5122

## 市内の子育て関連グループが集合 第一回子育て・まちづくりフォーラム

### 「子どもたちがいる風景」みたか

三鷹のまちで、子育てや遊び場づくりなどの活動をしている市民グループが集まって、「子ども「子育て」という視点からまちづくりを一緒に考えよう」という集いが開催されます。

「子どもたちがいる風景」みたか」と題し、東京大学教育学部教授で、毎日新聞に『おーい、父親』を連載中の汐見稔幸さんの講演を中心に、会場とのディスカッション、手作りのお茶会などが予定されています。

企画したのは、牟礼四丁目小中生や大人向けにシユタイナー教育の活動を行っているNPO法人「東京シユタイナーシユレ」と、第三中学校地域交流棟を拠点にさまざまなイベントを企画し、世代を超えた地域のネットワークづくりをめざす「三中地域・交



子どもたちが集う公園でフォーラムの打合せ

流会」

これに、三鷹を中心に活動している「NPO文化学習協同ネットワーク」「子ども文化NPO M・A・T」「自保育グループちっちゃちゅん」「自然育児友の会吉祥寺/編集部」「すべーす・はちのこ」「本当に生きていく力を持つ子どもを育てる会」「三鷹

遊び場計画」などが協力、当日は各グループの活動も紹介されます。

「これまでほとんど何のつながりもなかったグループなのに、打てば響くという感じで集まってきて、この三鷹という地域ならば、きつと新しい子育てのコミュニティができるに違いないと実感しました」と東京シユタイナーシユレの佐々恵子さん。三中地域・交流棟の矢ヶ部里子さんも「いつか、あの日が始まりだったね」と言えるような出会いの場にしたい」と、これからの広がりに期待しています。

未来への扉を開く子どもたちと、どんな風景をつくっていけるか、思い描いてみませんか。

▽12月7日（土）午前9時30分〜午後0時30分、第三中学校地域交流棟会議室。

▽当日、直接会場へ。

▽矢ヶ部（やかべ） ☎ FAX 43-9309・東京シユタイナーシユレ（月）金曜日午前10時〜午後3時 ☎ FAX 41-0506

## 新しいまち美化システムを考える全国シンポジウムに 三鷹の市民ボランティアが出席

三鷹市でも昨年からはじまった「アダプト（養子縁組み）プログラム」は、ボランティア団体が地域の道路や公園などを「養子」に見立て、愛情をもって清掃・管理などにあたり、自治体はそうした団体に用具の支給や災害補償保険適用などの支援を行うもの。

11月15日、品川プリンスホテルで行われた「アダプト・プログラム・シンポジウム2002」（社団法人食品容器環境美化協会主催）に、上連雀五丁目・曙さくら通りで地元のみなさんと清掃ボランティアをしている小宮雅夫さんがパネリストとして出席しました。

諏訪湖岸の環境美化に向けて周辺自治体や企業を巻き込んで広域的に取り組む長野県は先進地の行政担当者や、環境NPO団体「環境アライナー」という専門家の中で、小宮さんは唯一ボランティア市民としての参加でした。

「アダプト」市民としての参加でした。

◆里親募集中 継続的に①道路・②公園・緑地の清掃活動を行う5人以上のボランティア団体に、ほろき・ちりとりの・軍手・ゴミ袋などを支給。登録者はけがなどに備えて「三鷹市市民活動災害補償保険」を適用します。

①については道路整備課 ☎ 内線2844・②については緑と公園課 ☎ 内線28335へお問い合わせください。



発言する小宮さん（中央）

## パネルディスカッション

### 「いま、三鷹のまちは～その後の市民プラン21」

12月7日（土）三鷹産業プラザで

市の作成する基本構想・第3次基本計画策定に、市民が市とパートナーシップ協定を結び、素案づくりから参加した「市民プラン21」がその役割を終了し、解散して1年が過ぎようとしています。その間、提言に基づいた活動がさまざまなかたちで受け継がれ、新たなメンバーも加わり、自主グループ活動として行われています。一方、市では計画の実現に向けた具体的な取り組みが始まっています。

今回は、「市民プラン21」の元メンバー有志による主催で、現在、市が行っている「三鷹市まちづくり研究所」や「あすのまち・三鷹」の進捗状況、最重要プロジェクトの今後の展開などについて、元メンバーと市からの報告がありま

す。また、市民が自主活動として行っている「ファースト・ステップみたか」「地域通貨みたか会議」「自治基本条例をつくるみたか市民の会」それぞれの報告をいただきながら、三鷹のまちづくりについて話し合います。どなたでも参加できます。一緒に三鷹のまちづくりについて考えてみませんか。

▷12月7日（土）午後1時30分〜4時、三鷹産業プラザ7階で。パネルディスカッションの最後に、今後の会の運営について話し合います。終了後5時30分まで懇親会（参加費1,000円）。

▶当日、直接会場へ。

くわしくは正満宅 ☎ FAX 49-5419・内藤宅 FAX 42-5861へ。

## クリスマスの本

今年もクリスマスの季節がやってきました。図書館の本棚にも、この時期は、たくさんクリスマスの本が並びます。その中から、おすすめの5冊を紹介しましょう。

◆「サンタクロースのそりにのって」松岡節作 広野多珂子絵 ひかりのくに

今日はクリスマススイパだというのに、サンタクロースは元気がありません。大好きなりんごの木が風で倒れてしまったからです。しょんぼりしていたサンタクロースは、サンタクロースに「りんごの木を持ってきてください」と手紙を書きました。サンタクロースは紙をきりかぶに入れようとすると、奥の方からしんしんと鈴の音が聞こえてきました。

◆「クリスマス事典」国際機関日本サンタピア委員会監修 あすなる書房

「クリスマスって、なあに？」 「どうしてサンタクロースは赤い服を着てるの？」 など、子どもたちの疑問に対し、写真や絵を使ってやさしく答えてくれる本です。巻末には用語解説もあり、知っているようで知らなかったクリスマスをも、改めて知ることが出来ます。

◆「ボーボだいすき」 わたりむつこ作 ましませつこ絵 PHP研究所

サンタさんの手伝いをして暮らしている、しろくまのボーボは、サンタさんがひと休みしている間に、空をすべることができる不思議な靴を



借りることにしました。ボーボが雪を蹴り、風をきってどんどんすべっていくと、どこからか「おーん」という泣き声が聞こえてきます。その声につられたボーボは、保育園の庭に降り立ちました。

◆「いそがしいクリスマス」 マーヨリー・W・シャーマット/クレイグ・シャーマット作 神宮輝夫/内藤貴子訳 大日本図書

アニーが飼っている犬のファンクは、毎年クリスマス



の2週間前になると、ママからカードをもらいます。ところが、あと1週間でもクリスマスだというのに、今年はまだカードが届きません。アニーからカード探しを依頼された名探偵ネービーは、まず、アニーの家の郵便受けを調べてみることにしました。

◆「クリスマス人形のねがい」 ルーマー・ゴッデン作 バーバラ・クニー絵 掛川恭子訳 岩波書店

プロツサムさんのお店では、たくさんの人形たちが、買ってもらえるのを待っています。赤いドレスに身を包んだクリスマスカラーの人形ホリーも、自分だけの「クリスマスの子ども」に出会えることを願っています。



さて、とある町はずれに身寄りのないアイビーという女の子がいます。クリスマスになっても帰る家のないアイビーは、どこかに自分を迎えるはずだと信じて、雪の町をさまよって歩くうちに、店先に並ぶホリーと出会いました。その時、ホリーもアイビーも、そろって願い事をしたのです。

▽三鷹図書館 ☎ 43-9151